



慶應義塾

東日本大震災への対応と支援活動

2011年3月11日に発生した東日本大震災にあたって、慶應義塾は、被災者の方々の支援と被災地の復興のために、なしうることを実行していくとともに、慶應義塾の教育、研究、医療を通じて、厳しい状況にある日本社会への貢献をこれまで以上に果たしていきます。

URL <http://www.keio.ac.jp/ja/society/eq/>

方針

慶應義塾は、東日本大震災により被害を受けられたすべての被災者の方々に対し、義塾社中が一致協力し最大限の支援に努めたいと考え、義援金の送付や慶應義塾救援医療団の派遣をはじめとした取り組みを行っています。

[（東北地方太平洋沖地震関連）慶應義塾の支援活動について](http://www.keio.ac.jp/ja/news/2010/kr7a43000005ecr5.html)

<http://www.keio.ac.jp/ja/news/2010/kr7a43000005ecr5.html>

義援金

義援金活動として、塾員（慶應義塾の卒業生）の同窓組織である慶應連合三田会、大学の学生自治組織である慶應義塾大学全塾協議会と連携し、2011年3月17日から7月末日まで、義援金の募集を実施しています。4月14日に第1回目の送金として1億円を日本赤十字社へ送金しました。今後も順次送金を実施していきます。

[慶應義塾による義援金（基金室）](http://www.kikin.keio.ac.jp/gienkin.html)

<http://www.kikin.keio.ac.jp/gienkin.html>

慶應義塾救援医療団

対外的な取り組みとして、大学病院の医師・看護師・薬剤師・事務職員からなる「慶應義塾救援医療団」を、東京都との協力により震災地（宮城県気仙沼市、岩手県陸前高田市、福島県相馬市）へ派遣しています。

第1次は、2011年3月17日に東京を出発し医療支援活動を開始しました。4月末日時点で第9次を派遣しています。

塾生支援

大学では3月14日より、就学が困難になった塾生に対する相談窓口を設け、震災の影響により、春学期の就学が難しい場合には、2011年4月入学者については入学時期の延期または休学、それ以外の大学・大学院の在校生については休学の手続きをとることを認め、当該期間の授業料（在学料）および実験実習費の全額を免除することとしました。また、経済的に学業の継続が困難になった塾生に対し、「慶應義塾東日本大震災被災塾生特別奨学金」を創設し、経済的な支援を行うこととしました。

[「慶應義塾東日本大震災被災塾生特別奨学金」の創設について](http://www.gakuji.keio.ac.jp/life/shogaku/)

<http://www.gakuji.keio.ac.jp/life/shogaku/>

その他の支援活動

※下記 Web サイトをご参照ください。

[SFC における東日本大震災にかかわる社会貢献活動のご紹介](http://www.sfc.keio.ac.jp/news/20110418_02.html)

http://www.sfc.keio.ac.jp/news/20110418_02.html

塾内における対応

慶應義塾は学内において、震災直後より以下のような対応を行いました。

1. 被災地域に保証人住所、もしくは本人住所を持つ塾生（慶應義塾の在校生・在学生）の安否確認と課外活動等で東北地方やその周辺に行った学生・生徒・児童がいなかったかどうかの情報収集に努め、全員の安否を確認しました。
2. 各キャンパス・一貫教育校における被害の状況の把握を行いました。
3. 各キャンパス・一貫教育校で帰宅が困難となった学生・生徒・児童を校内に待機させ、必要に応じて水や非常食などを支給して安全を確保しました。
4. 三田キャンパスでは一般（外部）の帰宅困難者の方々にも南館の一部を開放しました。
5. 大学学部卒業式、大学院学位授与式を中止し、代わりに代表学生等へ学位記を授与し、その模様を動画配信するという形式で、大学学部学位記授与式、大学院学位記授与式を実施しました。
6. 大学入学式を5月1日に、大学院入学式を9月入学式と同時開催することで実施を延期しました。

なお、在学生対象のお知らせについては、最新情報は下記 Web サイトから確認してください。

[塾生向けサイト](http://www.gakuji.keio.ac.jp/)

<http://www.gakuji.keio.ac.jp/>

慶應義塾の節電対策について

東日本大震災に伴う電力事情をふまえ、慶應義塾ではこれまでもさまざまな節電を実施してきましたが、この夏の電力供給不足に対応するため、あらためて以下のような節電対策を実施しています。

方針

「夏期の電力需給対策」（2011 年 5 月 13 日付政府発表）において示された 15% の削減目標に則り、慶應義塾の各キャンパスにおける目標を設定し慶應義塾全体として 15% の削減を達成します。

●三田・日吉・矢上・湘南藤沢・芝共立：▲20% ●信濃町：▲6%

実施期間

2011 年 6 月 1 日～9 月 30 日

具体的な運用

- | | |
|----------------|--|
| (1) 空調温度設定 | 冷房のための下限設定温度を、28℃とします。
(教室、研究室、事務室、会議室、応接室等の居室および共用部) |
| (2) 照明の設定 | ●教室、研究室、事務室、会議室、メディアセンター（閲覧室）は、電灯類の 15～20% を消灯します。
●廊下等については、支障のない限り、日没まで全消灯とします。
●屋外体育施設については、原則として照明を使用しません。 |
| (3) エレベーターの稼働 | 各建物において複数台設置されている場合は 1 台の稼働とします。 |
| (4) 電気機器類の使用制限 | さまざまな電気機器類について必要に応じた使用制限や節電のための措置をとります。 |

その他

- | | |
|--------------|---|
| (1) クールビズの実施 | 節電対策の一環として、慶應義塾においてもクールビズを実施し、教職員は軽装（ノーネクタイ、ノージャケット等）で業務に従事します。以下のお知らせについても、併せてご参照ください。 |
|--------------|---|

[慶應義塾におけるクールビズの実施について](http://www.keio.ac.jp/ja/news/2011/kr7a43000006cf9b.html)

<http://www.keio.ac.jp/ja/news/2011/kr7a43000006cf9b.html>

- | | |
|-----------|--|
| (2) 熱中症対策 | 節電に伴う学生・生徒・児童および教職員の健康管理に留意し、とくに熱中症については十分な注意を払います。詳しくは下記 Web サイトをご参照ください。 |
|-----------|--|

[熱中症にならないために（保健管理センター）](http://www.hcc.keio.ac.jp/japanese/education/hyperthermia/hyperthermia.htm)

<http://www.hcc.keio.ac.jp/japanese/education/hyperthermia/hyperthermia.htm>